

2024 年冬シーズン「クリスマスケーキ」価格調査

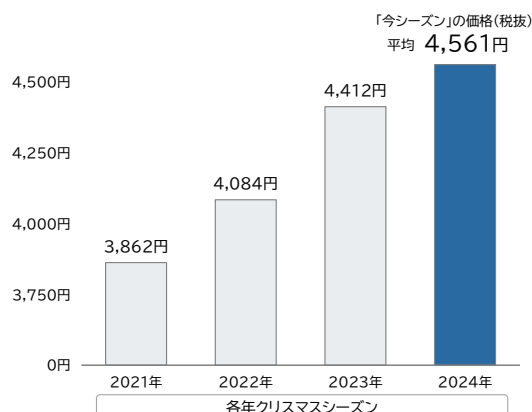
2024 年の Xmas ケーキ、平均 4561 円 前年比 3.4%値上げ イチゴなどの価格高騰が重荷、「ケーキ原価」は 3 年間で 1 割超の増加試算

物価高の影響で、今シーズンは買い控えを懸念した「価格」据え置きへの傾向目立つ

今シーズンのクリスマスケーキ価格は前年から 149 円・3.4%の値上げとなった。23 年に続き値上げとなったものの、原材料価格分のみで前年比 4%の値上がりが試算されるなかで、価格の上昇は大幅に抑制された。価格を据え置いたケーキでも、購入制限の導入やイチゴなどの装飾を抑えめにしたもの、トップラインを廃止して普及価格帯のみに絞るといったケースがみられた。消費者の財布が緩むことを期待した「大幅値上げ」が目立った昨シーズンと異なり、例年以上に価格を意識した控えめな値付けが目立つクリスマスシーズンとなりそうだ。

スイーツ・ケーキ通販サイト「Cake.jp」が 10 代～70 代の男女 301 名を対象に「クリスマスケーキに関する意識調査」を実施した結果、今年のクリスマスケーキに求めることは、「味」に続いて「価格」を重視する傾向が強いことが分かった。昨シーズンにも兆候が見られた、高額ケーキの敬遠や低価格品への人気集中といった「値上げ疲れ」がハレの日消費の代表格であるクリスマスにも本格的に波及しつつあり、今シーズンにおけるケーキ商戦の成り行きが注目される。

クリスマスケーキ 平均価格推移



【注】一部ケーキで調査対象が変更となっており、21年に通って価格を再集計している

クリスマスケーキの原材料価格動向



【注】総務省「小売物価統計調査」、店頭販売・市場卸売価格などを基に帝国データバンク推計

【注 1】 全国の大手コンビニエンスストア・百貨店・スーパー・洋菓子店などのうち、前年と価格が比較可能なオリジナルケーキブランドを対象に調査を行った。比較対象は 100 社・ブランド。標準的な苺ショートケーキ 5 号サイズ（ホール）、または目玉ケーキの税抜価格

【注 2】 前年と比較できないケーキがあるため、一部 22・23 年時調査から対象が変更となっている。なお、入れ替え対象のケーキサンプルについて 21 年まで遡って価格データを再集計した

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

今年のクリスマスケーキ、平均 4561 円 前年から 149 円アップも、値上げ幅は縮小

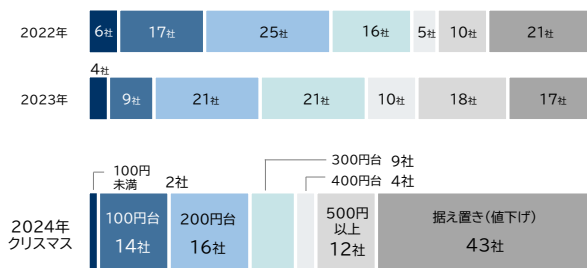
全国の大手コンビニエンスストアや百貨店、スーパー、著名な洋菓子店など計 100 社で販売されるクリスマスケーキの価格（ホール型 5 号、4～6 人向けサイズ）を調査した結果、2024 年冬シーズンの平均価格は 4561 円（税抜）だった。同じ対象企業のケーキ価格を比較すると、1 年前（23 年冬、「昨シーズン」）の 4412 円に比べて 149 円、率にして 3.4%の値上げとなった。

昨シーズンに比べて値上げ幅（328 円・8.0%増）は縮小したものの、本格的な値上げラッシュが始まる前の 21 年冬シーズンに比べると約 2 割増・700 円にせまる大幅な値上がりとなった。

前年から価格が上昇したケーキは 57 社で、過去 3 シーズンで最も少なかった。値上げしたケーキでは、値上げ幅が「200 円台」以下のケーキが 32 社を占めたほか、「300 円台」「400 円台」の値上げは過去 3 シーズンで最も少なかった。また、「価格据え置き・値下げ」に踏み切ったケーキは 43 社となり、過去 3 シーズンで最多だった。ホール当たり 3000 円～4000 円台前半の価格が多いスーパーなど量販店を中心に、値上げ幅を最小限に抑制したケーキが多かった。一方で、著名なホテルやパティスリーが手掛けるケーキでは「500 円以上」（12 社）の値上げ幅も多く、クリスマスケーキの価格は高級ラインと低価格・普及価格帯の二極化がより進行した。

2024 年のクリスマスケーキは、昨シーズンに続き原材料価格の高騰による影響を大きく受けた。一般的なショートケーキ（ホール・18cm 丸型）にかかる原材料コストについて、店頭価格を基準に帝国データバンクが「ケーキ原価」として算出した結果、2024 年平均は 1153 円だった。23 年通年の平均：1104 円に比べて 4.4%、21 年同から 13.5%上昇するなど、製造コストが大幅に増加した。原材料として使用量の多い小麦粉のほか、鶏卵や砂糖などの価格が前年を上回る水準が続いたことが影響した。ケーキに欠かせない「イチゴ」は、11 月時点の市場価格ベースで前年比 10～20%前後値上がりし、クリスマスシーズンにかけてさらに価格が上昇するとみられる。また、ショコラケーキなどでは「チョコレート」の値上がりも影響した。食材以外にも、テイクアウト用の化粧箱や食品フィルムなど包装資材で大幅な値上げが続くほか、冷蔵庫などの電気・ガス代、店頭販売員などの人件費も上昇傾向が続き、ケーキ価格の押し上げ要因となっている。

値上げ幅 2022～24 年の比較



(参考) ショートケーキ調理にかかる
原材料コスト推移・推計

